

教師とSSWrの会のこれまでの流れ

一般社団法人子ども・若者応援団では、2017年9月より「教師とスクールソーシャルワーカー（SSW）のための学習会」として5回の学習会を行ってきました。第1回・第2回は「困った子は困っている子？」をテーマに、教育と福祉の視点の違いや教師とSSWrの連携のあり方を探りました。第3回～第5回は「不登校の子どもにどう向き合うか」をテーマに、SSWrとの協働の経験をもつ現職の先生、SSWr、不登校の子どもをもつ保護者の方を報告者として学習会を重ねてまいりました。

SSWrの活用は2008年度より始まり、不登校対応を中心に学校での活用も少しずつ増えてきています。しかし、いまだ現場での周知がされているとは言い難く、もっとSSWrについて、先生方に知っていただきたい、教育職と福祉職の協働のあり方を探りたいという思いがあり、「教師とSSWrの協働のための学習会（教師とSSWrの会）」として新たに学習会を立ち上げ、以下のような活動をしています。

第一回 2020年9月22日 Zoom開催

テーマ：「支援の必要な子ども・保護者にどう向き合うか～病気を抱える保護者・外国籍・障害のある子供などの事例を踏まえて～」

報告者：公立中学校養護教諭・特別支援教育コーディネーター

第二回 2021年3月27日 Zoom開催

テーマ：「教師の目から見たスクールソーシャルワーカー～協働のために何が必要か～」

報告者：元公立中学校教諭

第三回 2021年8月29日 Zoom開催

テーマ：「子どもの置かれた環境、どこまで支援できるか」

報告者：スクールソーシャルワーカー

第四回 2022年3月27日 Zoom開催

テーマ：「子どもたちの成長を支える」

報告者：公立小学校長

コロナ禍が続く中で、不登校児童・生徒の数が増えています。また、家庭の状況も厳しさが増しているのではないのでしょうか。教員だけでは支えきれない子どもたちが増えつつあります。この機会に、先生方にSSWrという職を知っていただき、協働のあり方について考える機会を持ちたいと考えています。子どもたちのために同じ方向を向いて活動していけるよう、皆様のご参加をお待ちしております。

〈教師とSSWrの協働のための学習会 世話人〉

喜多明人（早稲田大学名誉教授・文学博士・子どもの権利条約総合研究所顧問）

竹原幸太（都立大学准教授）

高石啓人（山梨県立大学講師）

堀尾明子（都内教育委員会SSWr）

山本貴子（公立学校養護教諭）

竹村睦子（一般社団法人子ども・若者応援団代表理事・都立特別支援学校・附属学校SSWr・

荒川区/目黒区SSWrスーパーバイザー）

松林陽子（元中学校教員・一般社団法人子ども・若者応援団 寺子屋みらい講師）